# 政治社会学Ⅰ

科目ナンバリング　SOC-216
選択　　2単位

木下　浩一

1. 授業の概要（ねらい）

○○社会学といった呼称を、連字符社会学と呼ぶことがあります。本講が論じる政治社会学は、政治学と社会学にまたがった領域といえますが、あくまで社会学として論じていきます。

「政治」の定義はひとまずおくとして、本講では、個人に外在する「政治」が、われわれにどのような影響を及ぼすのか。われわれは「政治」に、どのような影響を与えうるのか。政治的コミュニケーションにおいて、メディアはどのように関わるのか。そのような問題を、ともに考えます。

本講では一部、ペアワークなどを行います。他の参加者とも意見や考えを共有しましょう。

2. 授業の到達目標

1）政治と社会の基礎的な事項について、説明することができる。
2）さまざまな「政治」を、われわれ個人や社会との関連のなかで捉えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

中間試験（50%）と期末試験（50%）を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
*教科書は特に指定しない。
参考文献
伊藤高史　『ジャーナリズムの政治社会学』　世界思想社、2010年
加藤秀治郎・岩渕美克 、他　『政治社会学』　一藝社、2013年

5. 準備学修の内容

▼授業では新聞記事を多用します。新聞記事や授業の内容から、1）興味関心を広げ、2）関心を絞り込み、3）特定の事例について調べ、4）再び受講してください。
▼毎週、1）から4）を繰り返し、2回の試験に臨んでください。リアクションペーパーやペアワークについても、同様です。

6. その他履修上の注意事項

▼後期に「政治社会学Ⅱ」を履修することが望ましい。
▼アクチュアルな時事問題を積極的に取り入れていきます。そのため、シラバス上の授業内容と相前後する場合があります。
▼学びは「やる気」がすべてです。「興味」から出発し「深める」、このすべての過程に、やる気は欠かせません。コツは「楽しむ」こと。楽しむことができれば、自ずとやる気がわき、継続できます。ただし、ここでいう「楽しみ」は、遊びのそれとは違います。大学ならではの知的な楽しみを共有しましょう。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス、イントロダクション
【第2回】　政治に関する一般的理解①：何が、どう問題なのか
【第3回】　政治に関する一般的理解②：右翼と左翼、保守と革新
【第4回】　政治に関する一般的理解③：民主主義は最善か
【第5回】　政治に関する一般的理解④：日米欧の文化・政治の違い
【第6回】　政治権力、支配、正当性
【第7回】　政治思想とイデオロギー
【第8回】　前半のまとめと中間試験
【第9回】　中間試験のフィードバック
【第10回】　世論形成と投票行動
【第11回】　政党・圧力団体・社会運動：政治における市民
【第12回】　政治社会学の理論①
【第13回】　政治社会学の理論②
【第14回】　質疑応答とペアワーク
【第15回】　まとめと期末試験